

独立行政法人中小企業基盤整備機構平成23年度第2回契約監視委員会

【議事要旨】

平成24年4月
独立行政法人中小企業基盤整備機構

1. 日 時 平成24年3月12日（月）15：30～16：30
2. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 第一役員会議室
3. 出席者 （委員）井上委員長、吉野委員、渡邊委員、大石委員、宇田川委員
（機構）櫻井理事、村上理事、他

4. 議 事

○議事に先立ち、村上理事から開会挨拶が行われた。

(1) 23年度9月から12月までの契約状況について

- ・事務局から、今回の審議対象期間の平成23年度9月から12月までの契約概況並びに随意契約により実施した仮施設整備事業の業者選定方法等について説明があった。

主な意見・質問	回 答
・特段の意見等はなかった。	—

(2) 個別案件の点検・審議について

- ・23年度9月から12月までの契約案件において一者応札・応募となった契約のうち、高額であった契約案件（3件）について審議された。

※案件毎の審議概要は、(別紙)を参照。

(3) 次回日程について

- ・事務局から次回委員会の日程等について説明があり了承された。

— 以上 —

(別紙)

○23年度9月から12月までの契約案件で一者応札・応募となった契約のうち高額であった契約案件

【中小企業大学校仙台校エントランスガラス修繕工事】	
主な意見・質問	回答
<p>・今回のような3000万円から5000万円クラスの小規模な工事については、説明にもあったが、震災復興需要の影響による入札不調という個別の事情があることを、議事録や資料に追加して記載していただければと思う。</p>	<p>・説明資料にもあるとおり、震災復興需要の影響に伴う作業員や資材の不足による単価アップや作業員の確保難等による入札不調といった個別の事情があることを議事録に記載することとします。</p>

【岩手県岩水町小本（No.10.11.13）・仮施設整備工事】	
主な意見・質問	回答
<p>・3棟一括発注についてはどのように判断されたか。</p>	<p>・震災復興需要の影響で、技能者や監督者が不足しているという特殊事情があり、別々に発注するとそれぞれ必要となる管理技術者が、近接した施設を一括発注すれば一人の管理技術者で対応できることや、規模を大きくした方が工事を受けやすくなるなどの考えから、効率性やコストも考慮したうえでの判断です。</p>

【平成23年度中小企業海外展開等支援事業「東京デザイナーズウィークに係る商談会」実施業務請負】	
主な意見・質問	回答
<p>・技術評価の段階で足切りをしているが、足切りをするのではなく、当該案件のようなデザイン性が求められるものは他の案件とは違って主観的な要素が入るので、技術評価の中で十分な議論をし客観性を持たせた技術評価をするなど、仕組みを検討してほしい。</p>	<p>・今後、技術評価の中で十分な議論をし客観性を持たせた技術評価をするなど、仕組みを検討していきたい。</p>